

・県が管理する道路は、岩美道路(山陰近畿自動車道)、倉吉道路・倉吉関金道路・北条倉吉道路(延伸)(北条湯原道路)、江府道路(江府三次道路)などの地域高規格道路等、鳥取県の産業活動等の骨格となる高速道路網以外にも、**観光振興や地域の生活に密着した国道や県道の整備を実施**しています。
 ・地域によっては、幅員狭小で普通車のすれ違いが困難な箇所、急こう配、急カーブで見通しが悪いなど、安全な走行に支障を来しているため、**降雨時や冬季でも安心して走行でき、歩行者も安心して歩けるような道路の確保が急務**となっています。

安全・安心な車道・歩行空間の確保

矢矯松原線(吉岡温泉地区)



・歩道や横断歩道がなく
大変危険な状態

・横断歩道と道路の両側に歩道を
設置
・吉岡温泉へのアクセス向上

曳田バイパス (鳥取市河原町曳田地区)



・幅員狭小で人家密集・歩道
未設置区間の交通をバイパス
により通過させ、安全確保と三
滝溪などの観光地へのアクセ
スを向上

片柴橋架替 (三朝町片柴)



全幅9.3mの橋に架替設計中

・橋が老朽化している上、幅員狭
小のためバスなど大型車が通過中
はすれ違いができない

観光や農産物の物流を支える

▶線形不良区間の解消の例 倉吉東伯線(倉吉市津原地区)



・急カーブ及び急こう配が
連続し、冬季には事故が
発生している区間

・工業製品、スイカの積み出し
等の山陰道とのアクセス性向上
・倉吉市内の白壁土蔵群等の
観光地へのアクセス性向上

▶幅員が狭小で老朽化が 進んだ橋りょうの架替 の例

杉下橋の架替 (琴浦町杉下地区)



集落孤立を回避

小河内加茂線(佐治町津無)



・地形的に全面的な改良が困難な中山間地では、幅員狭小の現道を部分的に拡幅、R5.1の豪雪では国道482号が通行止めとなった際のう回路として活用され、集落の孤立を回避